

連載 みんなの SDGs

スリーアール ごみを減らそう！3R ②

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



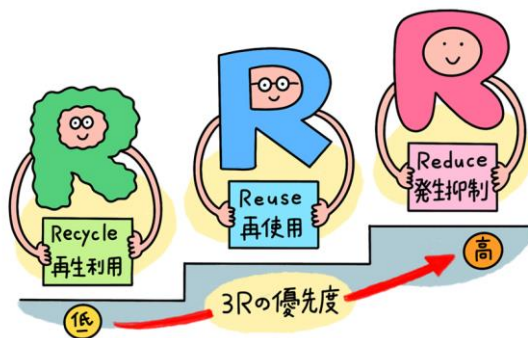
出典：伊達市HP「伊達市のごみの状況について」
https://www.city.fukushima-date.lg.jp/soshiki/86/72717.html

さくねんど だて し そうはいしゅつりょう とん しょうがっこう たて めーとる よこ
昨年度の伊達市のごみの総排出量は25,073tでした。これは小学校のプール（縦25m×横12.5m×
ふか やく はいぶん みす そうとう おも うちわけ ばーせん と せいかつけい じぎょうけい
深さ1.2m）約67杯分の水に相当する重さです。内訳は73%が生活系ごみ、27%が事業系ごみ。生活
系ごみが事業系ごみの約2.7倍と多く、排出量全体を押し上げていることがわかります。

生活系ごみを減らすためには、可燃ごみや粗大ごみを減らすことが重要です。ポイントは**3R**（スリーアール）。ゴミそのものを減らす **R**educe（リデュース）、ゴミとして捨てずにくり返し使う **R**euse（リユース）、ゴミを資源として再利用する **R**ecycle（リサイクル）の**3**つの**R**のことです。

3Rは、優先度の高い順に“リデュース→リユース→リサイクル”で心掛けるようにしましょう。

R educe リデュース	ごみそのものを減らす
R euse リユース	何回もくり返し使う
R ecycle リサイクル	資源として再利用する



むだなものは買わない
/もらわない（リデュース）
⇒使わなくなったら他の人にゆずる（リユース）
⇒ルールを守って資源ごみに出す（リサイクル）
の順番だね。

出典：環境省HP「もっと先の未来を考える
エコ・マガジン エコジン」
https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/index.html

わたし ひとり ふだん せいかつ なか けいぞく げんりょう と く ちきゅうかんきょう ほ こ
私たち一人ひとりが、普段の生活の中で、継続してごみの減量に取り組むことが、地球環境の保護につな
がっていくのですね。

Check! ご当地ヒーロー

COMING
SOON



じゅかいし
樹界騎士

パインプロスパー

今回は、“樹界騎士 パインプロスパー”をご紹介します！

2024年春、伊達市役所に突如現れたこのヒーロー。目的は「伊達市の林業復興のため」。
伊達市の自然を守るために日々活動をしています。名前の由来は、パイン pine「松」&プロスパー
prosper「繁栄、成功」。「伊達市のシンボルツリーである赤松が、松くい虫の被害により衰退する
のを防ぎ、伊達市を繁栄させさせたい！」という熱い思いがこめられているそうです。

SDGsの取り組みの中でも、林業の果たす役割はとっても大切♡それだけでも素晴らしいですが、
ヒーローの存在そのものが子ども心をくすぐりますね。老若男女問わず、
大人気のキャラクターになりそう！活動の告知や様子はインスタグラ
ムに投稿していくそうです。ぜひフォローしてください。

（インタビュアー：伊達市地域おこし支援員 福井 竣太 080-1837-8487）

伊達市の自然は
俺が守る！



パインプロスパー 近影

伊達市市民活動支援センター

〒960-0756 福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階

月～金曜日(年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
※木曜日は午後7時00分まで

TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971

E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp http://www.date-civilsupport.jp/

伊達市市民活動支援センターNEWSのバックナンバーはHPからごらんいただけます。



だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。.



2024（令和6）年 7月発行 vol.59
企画・編集
伊達市市民活動支援センター
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp
http://www.date-civilsupport.jp/

市民活動 いろは 教えて！だってちゃん

Q. 市民活動団体と趣味・サークル活動のグループ。何が違うの？

A.明確な区分けはありません。「地域や社会とのかかわり」がポイントです。

勉強会や趣味・サークル活動、お稽古ごとや会員限定
サービスのグループ活動と、市民活動はどこが違うので
しょう？ポイントは「地域や社会とのかかわり方」です。

市民活動は、自分（たち）のためだけではなく、みん
なの利益（＝公益）のために、自ら進んで行われる活動。
市民活動団体は、自分自身を含め、多くの人が感じている
社会の課題に取り組む団体のことで、特定のグループ
構成員に共通の利益（＝共益）や、特定の個人・団体の
利益（＝私益）を目的とする団体は該当しないのです。

とはいえ、市民活動団体とそれ以外の団体との間には、
明確な区分けはありません。例えば、趣味やサークル活
動を楽しむグループも、メンバーを広く募り、メンバー
以外の人たちにも活動を披露するなどして、楽しみや喜

びを共有する輪を広げていくと、地域や社会とのかかわ
りが深まり、市民活動としての側面をあわせ持つようにな
ります。

町内会や自治会、地域自治組織など、地域性が強い組
織（地縁組織）についても同様です。地縁組織は、一定
の区域に居住する人々の相互扶助を目的にしていますが、
仲間内で行う共益的な活動をベースにしつつ、一人一人
の構成員の自主性に則り、地域外の人も巻き込んだ社会
貢献活動が展開されている場合には、市民活動団体であ
るともいえるでしょう。

自分（たち）プラスα。
市民活動で、笑顔の輪
が広がっていくね♡



ワークショップ
詳細はこちら。

エコクラブだて
ワークショップのメンバー

エコクラブだて
伊達市伊達町

ごみ減量ワークショップ in 伊達

私たちは2002（平成15）年に活動を始めました。保
原町の古川や高子沼、梁川町の長沼で水質環境浄化活動をし
たり、近隣の学校で環境に優しいプール清掃のお手伝い
をしたりしていましたが、メンバーの高齢化が進み、コロ
ナ禍のもとで活動休止を余儀なくされました。

昨年、福島EMクラブ（福島市）の支援を受けて、活動
を再開することができました。“伊達市のごみを減らすた
め、生ごみをたい肥化しておいしい野菜を作ろう！”。昨
年は、市内の中央交流館で「ごみ減量ワークショップ in

伊達」を計6回開催し、約60名の参加を得ることができま
した。今年は、5月から9月にかけて、旧各町の中央交流
館・地区交流館でワークショップを開催しています。

環境問題やSDGsに興味・関心のある方はもちろん、若
い世代の方、子ども達とも活動を通じて繋がっていきたい。
イベントや学校の授業、交流館の生涯学習事業など、呼ん
でいただけたら喜んで伺います。ぜひお声がけ下さい。

（090-1491-4294 佐藤）

2024年 ごみ減量ワークショップ in 伊達

伊達中央交流館	5月8日	保原中央交流館	7月24日
伊達東地区交流館	5月22日	上保原地区交流館	8月7日
梁川中央交流館	6月5日	霊山中央交流館	8月21日
栗野地区交流館	6月19日	小国地区交流館	9月11日
堰本地区交流館	7月10日	月館中央交流館	9月25日



2024年6月
生ごみ堆肥づくり（栗野地区交流館）



2024年6月
EMぼかしづくり（同左）

3

すべての人に健康と福祉を

11

住み続けられるまちづくりを

17

パートナーシップで目標を達成しよう

だてな活動

石田ふるさと振興会

伊達市霊山町石田字宮下12-8
(石戸地区交流館)

石田地区

・人口：736人

・世帯数：321世帯

(2024年5月末現在)

4

質の高い教育をみんなに

15

陸の豊かさも育もう

だてな活動

コキアはたけの学校

後藤農園

福島県伊達市梁川町字庭渡50-1

YouTube

みやぎ生協・コープふくしま

「2023年度コキアはたけの学校」総集編

石田ふるさと宣言

- 一、豊かな自然を守り、未来につなぐふるさと石田を創ります
- 一、人と人とのつながりを深め、活力あるふるさと石田を創ります
- 一、子供から年寄りまで、安心して暮らせるふるさと石田を創ります

石田ふるさと振興会の発足は2012（平成24）年。地区の人口は当時と比較して約3割減少していますが、世帯数は約1割の減。高齢化と人口減少が進み、一人世帯が増加する地域の実情が伺われます。私たちは、「石田ふるさと宣言」のもと、その時々地域の状況と住民の皆さんのニーズに応じた取り組みを展開してきました。今年4月には、移動手段の無い方を対象に、交流館（生涯学習等）までの送迎や買い物支援（霊山町掛田）を開始しています。銀行ATMに長期間行け



ていなかった人がいたり、運転免許証が無いのは高齢者に限らないことなどがわかり、地域の実情に寄り添う必要性を改めて感じます。

外孫も、地区出身者も“オール石田”

一方、子育て支援の「石田っこクラブ」は、発足翌年から継続している事業です。時を経て、参加者は未就学児から小学生、中・高生、大学生へと広がり、保育士を志望するクラブ出身者も出てきました。地区の住民に限らず、地区外に住む外孫まで巻き込んだ活動が特徴です。2023年には石田小学校が閉校になりましたが、クラブの活動は継続していて、世代間のつながりが地域の内外で育まれています。今夏は、「ありがとう石田小学校」と題し、歴代の卒業生とお世話になった先生が集うイベントも企画しています。「スポーツ少年団同窓会」と「石田ふるさと夏祭り」も同日開催します。地区外に住む出身者も、地区にとって大切な存在。気持ちはいつも“オール石田”です。（024-586-1325 石戸地区交流館）



QRコードから支援センターHP内の紹介ページにアクセスできます。

つきだてあぐりん

伊達市月舘町



11

住み続けられるまちづくりを

15

陸の豊かさも育もう

だてな活動

日々をおもしろくしたい

私たちは、月舘町の若手・中堅農業者8名（果樹、米、きのこなど）からなるグループです。農業とともに暮らし、月舘町で送る日々をもっと楽しく、おもしろくしたい。そんな気持ちの仲間が集まりました。当初から手掛けているのは、マルシェの活動です。月舘町や周辺で開催されるマルシェに参加して、メンバーの持寄る農産物（桃、きゅうりなど）や加工品（きのこのアヒージョなど）を出品しています。農産物が豊富な時期には、マルシェの主催に回ることもあります。



私たちの活動が町の内外から人を呼び、地域に活気と賑わいが生まれる。そんな様子を皆さんに喜んでもらえると、私たちも嬉しく、やりがいを感じます。

ここに魅力があるから

数年前に、東京から大学生ボランティアを受け入れる活動も始めました。年5-6回、概ね5-6人の大学生が月舘町を訪れ、メンバー農家のお手伝いや地域活動の支援をしてくれています。すべて無償ボランティアで、滞在は1泊2日～長いと一週間程度。いわば、農家の“雑用”をこなしてもらい、大変助かっています。交通費や宿泊費など、学生さんたちにかかる負担も多いのにリピーターが出ています。卒業旅行で、あるいは卒業してから、わざわざ月舘町を訪れてくれる学生さんもいるほど。なぜか？きっかけは復興支援だったのかもしれませんが、ここに魅力があるからこそ通い続けてくれている。そう思うと、大変嬉しいです。



（090-4880-3223 齋藤）

こぎん刺し製品

特定非営利活動法人 ボネール

伊達市伊達市保原町字鉄炮町13番地7

家族の会から地域の輪へ

私たちの団体は、1993（平成5）年に発足した精神障がい者の家族会に始まります。精神障がいは目に見えたり、触ってわかるものではないため、周囲に理解されにくいことがあります。当事者や家族は、病院と自宅しか居場所のない状況に置かれがちで、家から出て仲間に会い、安心して過ごせる場が必要だったのです。作業所に通い、できることが増える。自信がつき、仕事として対価を得れば社会との繋がりもできます。接点を増やし、より幅広い関わりの中で歩んでいきたい。そんな思いが共感を呼び、2002（平成14）年には「福祉ハウスボネールを支える会」ができました。地元を中心に、200



名近くいる会員の皆さんと、コンサートやボネール祭り（薬師堂公園）を共同開催することで、より多くの方に私たちの

有するとともに、市外の方には伊達市を知ってもらい、親しんでもらう機会になっています。

子どもも、親も、近所も喜ぶ

子どもたちは“はたけ”で生き生きと土に触れ、夢中になって作業を楽しみます。自分で植えたコキアや農作物の成長を見守り、手ずから収穫し、畑直通の新鮮さを味わう。食物の始まりから終わりまで、自ら関わるのは親にとっても初めてのケースが多く、新鮮に感じてもらっています。そして、近所の農家の皆さん。高齢化が進む農業と地域ですが、子ども達が畑に集まる様子を喜び、応援してくださっています。イベントの準備、開催から、日ごろの農作物のお世話まで、裏方はなかなか大変ですが、楽しくやっていきたいと思います。（080-5849-6145 後藤）



ことを知ってもらえるようになりました。

“リカバリー”を支える

2006（平成18）年に法人格を取得。2008（平成20）年からは飲食のサービスを提供する事業を始めています。当事者がフロア（接客）やキッチンで働き、安心・安全のヘルシーランチを提供します。お昼時は大変な賑わいです。障がいがあっても、生活や仕事、人との関わりに主体的に臨み、自分らしく生きる。精神保健福祉の分野で“リカバリー”と呼ばれるプロセスです。障がいに対する理解を広げていくことは、誰にとっても生きやすい社会に繋がるのではないかと思います。

（024-576-7021 阿部）



左：ランチメニュー
右：カフェレストラン raku-raku 外観